

安全で安心して暮らせる地域をつくるために、子どもたちを見守り、育む

【竜美丘学区】竜美っ子あん&あんクラブ

防犯まちづくり活動

《学区データ》

学区名：竜美丘学区
世帯数：5,820世帯
(平成26年3月1日現在)

《団体データ》

団体名：①竜美っ子あん&あんクラブ
②竜美丘自主防犯パトロール隊
事業開始年度：平成22年度



◆取組のきっかけと経緯

平成17年に学区総代会が所管する竜美丘自主防犯パトロール隊が結成され、地域の安全安心と防犯を目的として、青色回転灯、散歩、愛犬、自転車など各種のパトロールを行っていました。その後、竜美丘自主防犯パトロール隊が学区福祉委員会の所管となると、全国的に小学生の登下校における事故が多発していたことや、学区内で不審者が多く確認されていたため、児童の登下校の見守り活動に特化した新たなパトロール隊の結成を検討するようになりました。

そうしたなか、岡崎まち育てセンター・りた^{※1}が防犯まちづくりに関するモデル地区^{※2}として竜美丘学区と事業を実施することとなり、そのなかで児童の登下校の見守り活動を行う竜美っ子あん&あんクラブを立ち上げました。

※1 市の中間支援組織として、地域交流センターの運営などを行っている特定非営利活動法人

※2 りたが独立行政法人 科学技術振興機構から委託した、「犯罪からの子どもの安全」を目的とした、「計画的な防犯まちづくりの支援システムの構築」のためのプロジェクトに関するモデル地区

◆事業内容

P T Aや学区福祉委員会を中心に、老人クラブや学区内の事業者などが隊員となり、登下校時を中心に児童の安全を見守っています。平成23年度からは新入学時に生徒の保護者が必ず隊員となるようになり、竜美っ子あん&あんクラブが地域全体に浸透していく仕組みづくりができました。また、隊員には小学校に入校する際の身分証を兼ねた隊員証が発行され、活動時には必ず身に付けるようにしており、児童や保護者に安心してもらえるように配慮をしています。

自主防犯パトロール隊の青色回転灯パトロールは、竜美っ子あん&あんクラブの活動も兼務しており、各学期の終業式の日には合同パトロールとして10台を超える青パトと一斉下校を行っています。

◆成果

活動前に比べ小学校周辺の不審者の数が減っており、パトロールや見守り活動の成果が出ています。さらに、全校集会やPTA総会などで竜美っ子あん＆あんクラブや竜美丘自主防犯パトロール隊の活動の案内や紹介による周知を行った結果、活動が地域に浸透し、活動中に児童や保護者に挨拶やお礼を言われる機会が増え、隊員のやりがいにつながるなど、防犯以外の成果も出ています。

また、パトロールの報告などを基にPTAがあん＆あんマップを作成しており、毎年マップが更新され、児童の集合場所が変更されるなど、活動の結果が生かされています。また、登下校時だけでなく、全般的な児童の安全安心を願う声が上がった結果、昼間でも高い木々で覆われて薄暗かった竜美丘公園を地元町内会の協力のもと、自然豊かな公園として整備し、保護者も安心できる子どもの遊び場の提供をすることができました。

◆今後の展望・課題

各学期の終業式の日合同パトロールには多くの参加者が集まりますが、普段の活動は限られた人しか参加できていません。また、竜美っ子あん＆あんクラブはPTAや学区福祉委員会を中心に活動していますが、隊員や役員の年齢も徐々に上がっています。今後も継続して活動を行い、地域の安全安心を維持していくためにも、より若い世代の方に積極的に参加してもらうなど、活動の後継者を探していく必要があります。



こんな工夫をしています！

●ローテーションを組んで活動を絶

やさない！

→ 現在、竜美丘学区では青パトを23台登録しており、全ての車が1回1時間程度のパトロールを少なくとも、週1度以上行っています。

また、日曜日を除き、町内会ごとに月・水・金／火・木・土というように出動する日を決めており、活動する日が重複し過ぎたり、手薄になり過ぎないように連携を取りながら、すき間なく学区全体を見守っています。

注目ポイント！

●地域ぐるみで登下校時の安全安心

を醸成

→ 竜美っ子あん＆あんクラブの隊員はPTAや福祉委員会、老人会の会員だけではありません。

地域の事業者や自営業の方にも隊員になっていただき、小学校近隣の事業者には下校時に事業所の前に立つなど、児童の安全な下校の見守りをいただいています。特に、こども110番の家に指定されている事業者のほとんどが協力をしてくれており、地域の大人が一丸となり子どもの安全を願い活動をしています。